

■ 目 次 ■

1 法人の概要

1. 沿革の概要	1
2. 建学の精神と教育目標	3
3. 設置する学校、学部、学科等	4
4. 平成 22 年度学生数	5
5. 補助金等に関する事項	7
6. 名誉理事に関する事項	10
7. 役員等に関する事項	10
8. 評議員に関する事項	11
9. 名誉教授	12
10. 教授会構成員	13
11. 教職員数	16

1 法人の概要

1. 沿革の概要

明治 44 年	星一、星製薬株式会社を創立、社内に教育部門を設置
大正 9 年	星製薬商業学校設立のため、現校地(荏原郡平塚村戸越 320 番地) 約 1 万坪を購入
大正 10 年	星薬業講習会開講
大正 11 年	星製薬商業学校設立
大正 13 年	星製薬商業学校大講堂(現本館)竣工
昭和 16 年	星薬学専門学校設立 5 月 18 日創立記念会を挙行(創立記念日となる)
昭和 17 年	薬用植物園設置
昭和 21 年	男女共学制採用
昭和 25 年	星薬科大学設立認可(薬学部薬学科入学定員 80 名)
昭和 34 年	薬学科入学定員 120 名
昭和 38 年	衛生薬学科増設(入学定員 60 名)
昭和 44 年	大学院薬学研究科修士課程(薬学専攻)開設(入学定員 16 名)
昭和 45 年	図書館竣工
昭和 46 年	衛生薬学科入学定員 80 名
昭和 50 年	大学院薬学研究科博士課程(薬学専攻)開設(入学定員 8 名)
昭和 51 年	女子寮竣工
〃	衛生薬学科入学定員 120 名
昭和 52 年	体育館およびプール竣工
昭和 57 年	医薬品化学研究所設置
〃	大谷研究助成金制度発足
昭和 60 年	大学院薬学研究科修士課程(薬学専攻)入学定員 28 名
昭和 61 年	医薬品化学研究所竣工
昭和 62 年	中華人民共和国・北京医科大学薬学院(現北京大学医学部薬学院)と姉妹校締結
平成 3 年	創立 80 周年記念式典
平成 9 年	大学院に昼夜開講制を導入
〃	私立大学ハイテク・リサーチ・センターに選定(文部省) プロジェクト名 「血管内皮細胞障害に起因する諸種疾病の予防・治療を目標とした創薬研究」
〃	特別奨学生制度(優等生表彰制度)発足
平成 12 年	大学院薬学研究科修士・博士課程 医療薬科学専攻増設 (入学定員: 修士課程 25 名、博士課程 6 名)

- 平成 12 年 薬学教育研究センター発足
- 平成 13 年 新館(新星館と命名)竣工
- 創立 90 周年記念式典
 - 私立大学学術フロンティア推進拠点に選定(文部科学省)
プロジェクト名「緩和医療を目指した薬物療法に関する薬学的研究」
- 平成 14 年 病院・薬局実務実習を必修化
- 本館大改修完成
- 平成 15 年 米国テキサス大学オースチン校と姉妹校締結
- 平成 16 年 第 2 新館竣工
- 平成 17 年 インドネシア国アイルランガ大学と学術交流協定締結
- 平成 18 年 薬学科(6 年制、入学定員 260 名)、創薬科学科(4 年制、入学定員 20 名)設置
- 私立大学学術フロンティア推進拠点に選定(継続)
プロジェクト名「緩和医療における疼痛治療の薬学的研究」
- 平成 19 年 オープン・リサーチ・センター整備事業に採択(文部科学省)
- タイ国チュラロンコーン大学と学術交流協定締結
 - スウェーデン国ウプサラ大学と学術交流協定締結
 - 星薬科大学発ベンチャー、株式会社シンスター・ジャパンを設立し、
抗マラリア薬等を開発中
 - 学校法人星薬科大学創薬科学研究センター設置
- 平成 20 年 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択(文部科学省)
- 保健医療分野における基礎研究推進事業に採択((財)医薬基盤研究所)
- 平成 21 年 生涯研修認定制度認証(一般社団法人薬剤師認定制度認証機構)
- マレーシア国マレーシア・プトラ大学と学術交流協定締結
- 平成 22 年 台湾国嘉南薬理科技大学と学術交流協定締結
- 百年記念館竣工
 - 大学院薬学研究科修士課程(総合薬科学専攻)開設(入学定員 16 名)
 - 山梨大学と学術交流協定締結
- 平成 23 年 東京慈恵会医科大学と学術交流協定締結

2. 建学の精神と教育目標

大学の使命は、「知」の創造と継承にある。大学は、高度の教育および学術研究の中心的機関として、学問の自由を基礎に、有為な人材を育成し、学問の進歩を図ることによって、社会および人類に貢献する責務を担っている。また、薬学は、人類が疾病の苦しみからのがれ、健やかで衛生的な環境のもとに過せるよう「薬」の側面から寄与しようとするものである。

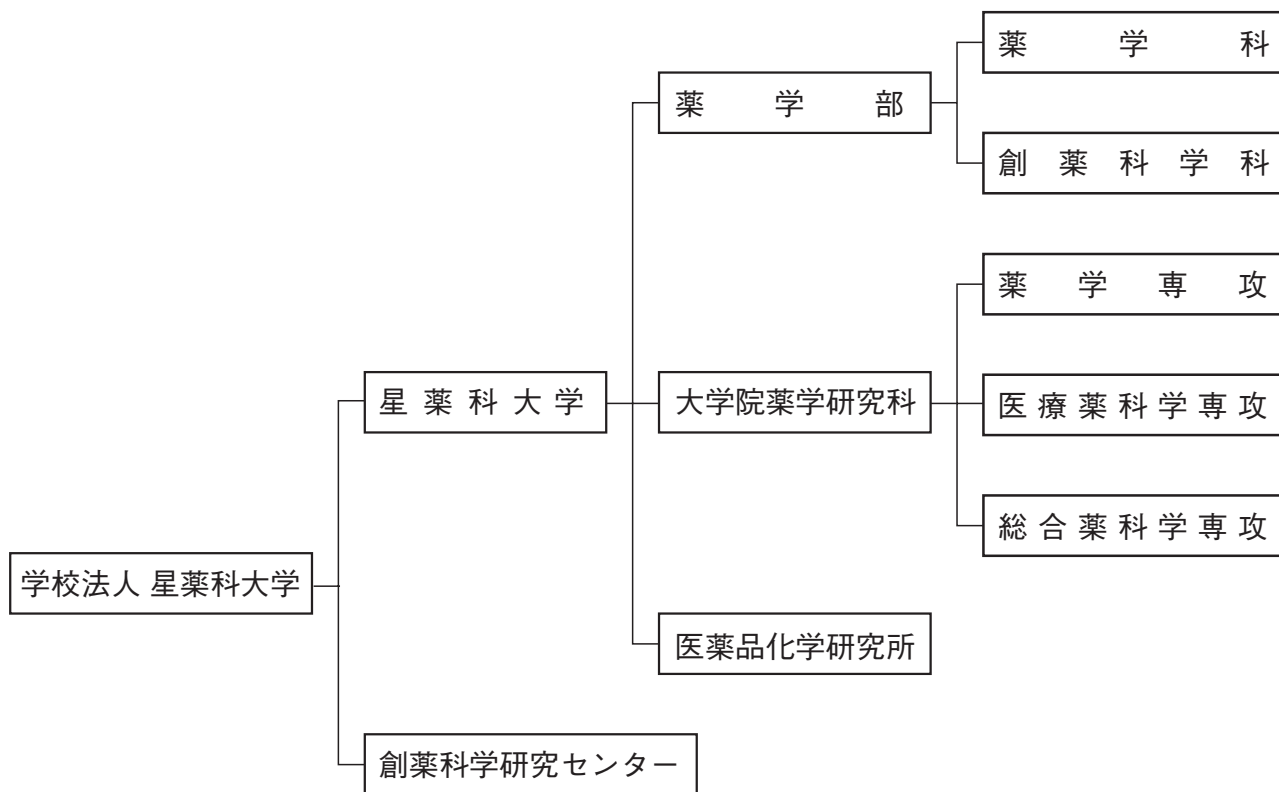
本学の創立者星一は、「日本は世界一の製薬国になり得る国である。薬は文化の母であるから日本は世界一の良い薬をつくり、これを世界に供給していくことが、日本の文化的使命である」との思想を持ち、事実、大正年間星製薬株式会社において星一はモルヒネ、キニーネ、コカイン、アトロピンなどのアルカロイドの日本での最初の工業的生産に成功し、これらの相当量を世界に輸出し、わが国で工業生産された医薬品原体の輸出に先鞭をつけた。

こうした信念を成就するには星一は「一に人、二に人、三に人」と人の育成が大切であるとし、「世界に奉仕する人材育成の揺籃である」を建学の精神とする星薬科大学の創設を行うに至った。人の育成の根本理念として「親切第一」を掲げ、「親切第一を主義として、自己に親切なれ、何人にも親切なれ、物品に親切なれ、時間に親切なれ、学問に親切なれ、金銭に親切なれ、親切は平和なり、繁栄なり、向上なり、親切の前には敵なし、親切は世界を征服す」と説いた。創立以来 100 年の長きに亘ってこうした創立者の精神は本学の建学の精神として全学生に浸透すべく教育が行われてきた。

具体的な教育目標は、医薬品の創製、生産、供給、管理をはじめ、衛生環境の向上、医療の場における医薬品の適正使用など、広く薬学全般にわたっている。これら多方面におよぶ応用分野において、実際に役立つ高度な専門の知識技術・創造力・判断力を含む問題解決能力や課題探求能力を備えるとともに、幅広い教養、豊かな人間性と愛情、高い倫理観を身につけることによって、「社会奉仕」と「患者への奉仕」という目的意識を強く持ち、かつ「人格」、「実力」、「情熱」を兼ね備えた、国民から信頼され尊敬される薬剤師の養成を目指している。また、環境保全や食の安全を通じて人類の健康増進に貢献すべき専門家の養成も社会的使命である。

これらの教育および研究活動を通して、真に社会と患者に奉仕する精神を培い、世界に貢献する人材育成を達成せんとするものである。

3. 設置する学校、学部、学科等



4. 平成 22 年度 学生数

学部（平成 22 年 5 月 1 日現在）

（新課程）

薬学部	性別	1 年生			2 年生			3 年生			4 年生			5 年生			小計
		定員 (280)			定員 (280)			定員 (280)			定員 (280)			定員 (280)			
		新入生	留年	計	進級者	留年 復学*	計	進級者	留年	計	進級者	留年	計	進級者	留年	計	
薬学科 定員 (260)	男	80	8	88	86	8 1*	95	98	6	104	95		95	80		80	462
	女	188	27	(1) 215	164	11	175	157	5	162	146		146	135		135	(1) 833
	計	268	35	(1) 303	250	19 1*	270	255	11	266	241		241	215		215	(1) 1,295

															小計
創薬科学科 定員 (20)	男	18	3	(1) 21	26	3	(1) 29	13	1	14	17		17	(2) 81	
	女	9		9	14	1	15	18		18	16		16	58	
	計	27	3	(1) 30	40	4	(1) 44	31	1	32	33		33	(2) 139	

		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	合計
合計	男	109	124	118	112	80	543
	女	224	190	180	162	135	891
	計	333	314	298	274	215	1,434

（旧課程）

薬学部	性別	3 年生			4 年生				小計
		進級者	留年	計	進級者	留年	卒延	計	
薬学科	男		1	1	1			1	2
	女								
	計		1	1	1			1	2
衛生薬学科	男				2			2	2
	女								
	計				2			2	2
合計	男		1	1	3			3	4
	女								
	計		1	1	3			3	4

休学者は（ ）内に内数で示す。

大学院（平成 22 年 5 月 1 日現在）

薬学研究科	修士課程						博士課程						合計
	定員	性別	M1	定員	M2	計	定員	性別	D1	D2	D3	計	
薬学専攻		男	2	28	26	28	8	男	3	7	7	17	45
		女	3 (1)		16	19 (1)		女	1	3	0	4	23 (1)
		計	5 (1)		42	47 (1)		計	4	10	7	21	68 (1)
医療薬科学専攻		男	2	25	19	21	6	男	3	2	1	6	27
		女	1		19 (1)	20 (1)		女	1	0	1	2	22 (1)
		計	3		38 (1)	41 (1)		計	4	2	2	8	49 (1)
総合薬科学専攻	16	男	17			17							17
		女	10			10							10 (1)
		計	27			27							27 (1)
合計	16	男	21	53	45	66	14	男	6	9	8	23	89
		女	14 (1)		35 (1)	49 (2)		女	2	3	1	6	55 (2)
		計	35 (1)		80 (1)	115 (2)		計	8	12	9	29	144 (2)

社会人学生は[]内に内数で示す。
休学者は()に内数で示す。

5. 補助金等に関する事項

(1) 平成 22 年度私立大学等経常費補助金

補助金 481,593 千円

(①一般補助 303,655 千円 ②特別補助 177,938 千円)

(2) 平成 22 年度私立大学等研究設備整備費等補助金 (私立大学等研究設備等整備費)

学内 LAN の更新：補助額 10,448 千円

(3) 平成 22 年度私立学校施設高度化推進事業費補助金

3,577 千円

(4) 平成 22 年度科学研究費補助金

42,773 千円

研究種目	所属教室・研究室	氏名・職名
若手研究 (B)	創剤構築研究室	服部 喜之 准教授
若手研究 (B)	機能形態研究室	松本 貴之 助教
若手研究 (B)	薬物治療学教室	大澤 匡弘 講師
若手研究 (B)	薬動学教室	落合 和 講師
若手研究 (B)	薬品分析化学教室	伊藤 里恵 助教
若手研究 (B)	臨床化学教室	里 史明 助教
若手研究 (B)	薬品毒性学教室	今井 哲司 研究員
基盤研究 (B)	薬品毒性学教室	成田 年 准教授
基盤研究 (C)	薬剤学教室	高山 幸三 教授
基盤研究 (C)	体育学研究室	竹ノ谷文子 講師
基盤研究 (C)	薬化学教室	河合 賢一 教授
基盤研究 (C)	薬剤学教室	森下真莉子 准教授
基盤研究 (C)	薬品分析化学教室	斉藤 貢一 准教授
基盤研究 (C)	薬理学教室	千葉 義彦 准教授
基盤研究 (C)	生化学教室	中陳 静男 教授
基盤研究 (C)	機能形態研究室	鎌田 勝雄 教授
基盤研究 (C)	衛生化学教室	福井 哲也 教授
基盤研究 (C)	薬物治療学教室	亀井 淳三 教授
基盤研究 (C)	薬理学教室	花崎 元彦 客員講師
基盤研究 (C)	生薬学教室	森田 博史 教授
基盤研究 (C)	生体分子有機化学研究室	津吹 政可 教授
基盤研究 (C)	病態機能制御学研究室	高橋 典子 教授
基盤研究 (C)	微生物学教室	築地 信 准教授
若手研究(スタートアップ)	生薬学教室	細谷 孝博 助教
基盤研究 (B) (分担)	薬品毒性学教室	成田 年 准教授
基盤研究 (C) (分担)	英語研究室 1	河野 円 教授
基盤研究 (C) (分担)	創剤構築研究室	服部 喜之 准教授
基盤研究 (C) (分担)	生薬学教室	金田 利夫 講師
新学術領域研究 (分担)	体育学研究室	竹ノ谷文子 講師
挑戦的萌芽研究 (分担)	体育学研究室	竹ノ谷文子 講師

(5) 厚生労働省関係

23,940 千円

厚生労働科学研究費補助金 化学物質リスク研究事業 (分担) 薬品分析化学教室 中澤 裕之 教授
厚生労働科学研究費補助金 食品の安心・安全確保推進研究事業 (分担) 薬品分析化学教室 中澤 裕之 教授
厚生労働科学研究費補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 (分担) 衛生化学教室 福井 哲也 教授
厚生労働科学研究費補助金 化学物質リスク研究事業 (分担) 薬品毒性学教室 鈴木 勉 教授
厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業 (分担) 薬品毒性学教室 鈴木 勉 教授
厚生労働科学研究費補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 (分担) 薬品毒性学教室 鈴木 勉 教授
厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費 (分担) 薬品毒性学教室 鈴木 勉 教授
厚生労働科学研究費補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 (分担) 創剤構築研究室 米谷 芳枝 教授
厚生労働科学研究費補助金 食品の安心・安全確保推進研究事業 (分担) 薬品分析化学教室 斉藤 貢一 准教授
厚生労働省長寿医療研究委託費 (分担) 臨床化学教室 輪千 浩史 准教授

(7) その他(独立行政法人、財団法人等関係)

63,549 千円

独立行政法人医薬基盤研究所 研究助成 薬品製造化学教室 本多 利雄 教授 原虫疾患研究室 井原 正隆 特任研究員 (教授相当)
財団法人日本自動車研究所 研究助成 薬品毒性学教室 鈴木 勉 教授 薬品毒性学教室 成田 年 准教授
「アルコールと健康」研究会研究補助金 薬品毒性学教室 鈴木 勉 教授
財団法人日本食品化学研究振興財団 研究助成 薬品分析化学教室 斉藤 貢一 准教授
独立行政法人新エネルギー産業技術総合開発機構 薬剤学教室 森下真莉子 准教授
独立行政法人科学技術振興機構 (JST) 研究助成 原虫疾患研究室 井原 正隆 特任研究員 (教授相当)
財団法人日本応用酸素協会 研究助成 衛生化学教室 山崎 正博 准教授
財団法人国際協力技術研修財団 研究助成 応用微生物学教室 武田 尚 助教

6. 名誉理事に関する事項

平成 23 年 3 月 31 日現在

氏 名	委 嘱 年 月 日
松 本 勝 輔	平成元年5月27日
花 井 孝	平成11年9月28日
功 刀 一 彌	平成19年10月23日

7. 役員等に関する事項

平成 23 年 3 月 31 日現在

役 員	氏 名	就 任 年 月 日	役 職
理 事 長	大 谷 卓 男	平成 19 年 7 月 13 日	法人代表・総理
副理事長	大 谷 利 勝	平成 19 年 7 月 13 日	理事長補佐
理 事	中 嶋 暉 躬	平成 16 年 4 月 1 日	学長・学事統督
理 事	石 川 悦 久	平成 19 年 7 月 13 日	業務・広報副担当
常務理事	榎 並 洋 介	平成 20 年 5 月 24 日	財務・経理担当 人事・労務担当 総務・法務副担当
理 事	梶 野 忠	平成 22 年 5 月 22 日	人事・労務副担当
理 事	河 合 賢 一	平成 19 年 7 月 13 日	人事・労務副担当 業務・広報副担当
理 事	佐 竹 正 子	平成 19 年 7 月 13 日	業務・広報副担当
理 事	田 中 隆 治	平成 22 年 1 月 26 日	業務・広報担当
理 事	西 村 忠 典	平成 19 年 7 月 13 日	総務・法務担当
理 事	山 口 一 城	平成 19 年 7 月 13 日	財務・経理副担当
監 事	藤 原 憲 一	平成 19 年 7 月 13 日	監査担当
監 事	山 本 昭	平成 19 年 7 月 13 日	監査担当
顧 問	宇田川 勝 之	平成 19 年 8 月 1 日	
顧 問	小 池 和 正	平成 22 年 5 月 22 日	

8. 評議員に関する事項

平成 23 年 3 月 31 日現在

氏 名	就任年月日	区 分
中 嶋 暉 躬	平成 19 年 4 月 1 日	1 号評議員 (学長)
上 田 晴 久	平成 19 年 4 月 1 日	2 号評議員 (職員)
榎 並 洋 介	平成 19 年 4 月 1 日	2 号評議員 (職員)
河 合 賢 一	平成 19 年 4 月 1 日	2 号評議員 (職員)
杉 山 清	平成 19 年 4 月 1 日	2 号評議員 (職員)
高 山 幸 三	平成 19 年 4 月 1 日	2 号評議員 (職員)
辻 勉	平成 20 年 4 月 1 日	2 号評議員 (職員)
福 井 哲 也	平成 19 年 4 月 1 日	2 号評議員 (職員)
本 多 利 雄	平成 19 年 4 月 1 日	2 号評議員 (職員)
吉 田 正	平成 19 年 4 月 1 日	2 号評議員 (職員)
西 村 忠 典	平成 19 年 4 月 1 日	3 号評議員 (卒業生)
神 田 清	平成 19 年 4 月 1 日	3 号評議員 (卒業生)
渡 辺 邦 夫	平成 19 年 4 月 1 日	3 号評議員 (卒業生)
久 米 基 夫	平成 19 年 4 月 1 日	3 号評議員 (卒業生)
平 井 政 己	平成 19 年 4 月 1 日	3 号評議員 (卒業生)
船 田 一 夫	平成 19 年 4 月 1 日	3 号評議員 (卒業生)
林 圭 一	平成 19 年 4 月 1 日	3 号評議員 (卒業生)
佐 竹 正 子	平成 19 年 4 月 1 日	3 号評議員 (卒業生)
鶴 原 伸 尚	平成 19 年 4 月 1 日	3 号評議員 (卒業生)
梅 津 浩 平	平成 19 年 4 月 1 日	4 号評議員 (学識経験者)
大 谷 卓 男	平成 19 年 4 月 1 日	4 号評議員 (学識経験者)
大 谷 利 勝	平成 19 年 4 月 1 日	4 号評議員 (学識経験者)
梶 野 忠	平成 19 年 4 月 1 日	4 号評議員 (学識経験者)
田 中 隆 治	平成 19 年 4 月 1 日	4 号評議員 (学識経験者)
長谷川 慧 重	平成 19 年 4 月 1 日	4 号評議員 (学識経験者)
山 口 一 城	平成 19 年 4 月 1 日	4 号評議員 (学識経験者)
山 本 章	平成 19 年 4 月 1 日	4 号評議員 (学識経験者)
石 川 悦 久	平成 19 年 4 月 1 日	5 号評議員 (理事長選任)
大 住 恭 三	平成 19 年 4 月 1 日	5 号評議員 (理事長選任)
島 田 れい子	平成 21 年 5 月 23 日	5 号評議員 (理事長選任)
柳 澤 哲 哉	平成 19 年 4 月 1 日	5 号評議員 (理事長選任)
山 崎 長 宏	平成 19 年 4 月 1 日	5 号評議員 (理事長選任)

9. 名誉教授

平成 23 年 3 月 31 日現在

氏 名	学位称号	授与年月日
石川 信雄	医学博士	昭和 54 年 5 月 28 日
今枝 一男	薬学博士	平成 3 年 4 月 1 日
井上 隆夫	薬学博士	平成 4 年 4 月 1 日
緒方 理彦	理学士	平成 4 年 4 月 1 日
桜井 弘木	文学士	平成 4 年 4 月 1 日
高畠 文夫	文学士	平成 6 年 5 月 28 日
粕谷 豊	薬学博士	平成 7 年 4 月 1 日
篠田 雅人	薬学博士	平成 7 年 4 月 1 日
仲嶋 正一	薬学博士	平成 7 年 4 月 1 日
大沢 敬子	薬学博士	平成 7 年 10 月 1 日
入江 昌親	薬学博士	平成 9 年 4 月 1 日
高橋 浩	薬学博士	平成 9 年 4 月 1 日
南原 利夫	薬学博士	平成 13 年 4 月 1 日
永井 正博	薬学博士	平成 16 年 4 月 1 日
高橋 朋子	薬学博士	平成 16 年 4 月 1 日
鮫島 勇次	薬学博士	平成 17 年 4 月 1 日
小宮 和英	薬学博士	平成 17 年 4 月 1 日
大宮 茂	薬学博士	平成 19 年 4 月 1 日
竹内 正雄	医学博士	平成 19 年 4 月 1 日
榎並 洋介	経済学修士	平成 20 年 4 月 1 日
吉田 国臣	文学修士	平成 20 年 4 月 1 日
瀬山 義幸	薬学博士	平成 21 年 4 月 1 日
太田 節子	薬学博士	平成 21 年 4 月 1 日
町田 良治	薬学博士	平成 22 年 4 月 1 日
扇 和子	薬学博士	平成 22 年 4 月 1 日

10. 教授会構成員

平成 23 年 3 月 31 日現在

職 名	氏 名	学位称号	担当又は所属	備 考
学 長	中 嶋 暉 躬	薬学博士		医薬品化学研究所長 薬学教育研究センター長 学校法人星薬科大学・ 創薬科学研究センター長
教 授	三 澤 美 和	薬学博士	薬理学	
教 授	本 多 利 雄	薬学博士	薬品製造化学	
教 授	河 合 賢 一	薬学博士	薬化学	学長特任補佐 図書館長
教 授	中 澤 裕 之	薬学博士	薬品分析化学	
教 授	福 井 哲 也	薬学博士	衛生化学	環境保全センター長
教 授	辻 勉	薬学博士	微生物学	教務部長 教育器具センター長
教 授	鈴 木 勉	薬学博士	薬品毒性学	就職部長 入試実行委員長
教 授	高 山 幸 三	薬学博士	薬剤学	学長特任補佐 薬学科長
教 授	吉 田 正	医学博士	病態生理学	
教 授	中 陳 静 男	薬学博士	生化学	
教 授	上 田 晴 久	薬学博士	薬品物理化学	学生部長 放射線取扱主任者
教 授	鎌 田 勝 雄	薬学博士	機能形態	医薬品化学研究所・ 生体機能部門
教 授	森 田 成 満	法学修士	法学	
教 授	米 谷 芳 枝	薬学博士	創剤構築	医薬品化学研究所・ 医薬品適用部門
教 授	亀 井 淳 三	薬学博士	薬物治療学	動物センター長 薬剤師生涯学習支援室長
教 授	東 山 公 男	薬学博士	有機合成化学	創薬科学科長 機器センター長 医薬品化学研究所・医薬資源化学部門
教 授	杉 山 清	薬学博士	薬動学	薬学教育研究センター・ 実務教育研究部門長
教 授	高 橋 典 子	薬学博士	病態機能制御学	毒物劇物管理責任者 医薬品化学研究所・生体機能部門
教 授	森 田 博 史	薬学博士	生薬学	
教 授	市 場 みすず	薬学博士	薬学教育研究センター・ 実務教育研究部門	

職名	氏名	学位称号	担当又は所属	備考
教授	櫻井 正太郎	薬学博士	薬学教育研究センター・ 実務教育研究部門	
教授	細川 友和	薬学博士	薬学教育研究センター・ 薬剤師教育研究部門	薬学教育研究センター・ 薬剤師教育研究部門長
教授	津吹 政可	薬学博士	生体分子有機化学	入試実行副委員長 医薬品化学研究所・ 医薬資源化学部門
教授	河野 円	修士(M. A.)	英語 1	教養科長
教授	南雲 清二	薬学博士	薬用植物	薬用植物園長
教授	大西 啓	薬学博士	医療薬剤学	
准教授	鳴原 淳	薬学博士	薬学教育研究センター・ 薬剤師教育研究部門	薬学教育研究センター・ 薬剤師教育研究部門長補佐
准教授	中川 弘一	理学博士	物理学	
准教授	成田 年	薬学博士	薬品毒性学	教務部長補佐
准教授	斉藤 貢一	博士(薬学)	薬品分析化学	
准教授	川崎 勝義	教育学修士	心理学	
准教授	輪 千浩史	博士(薬学)	臨床化学	教務部長補佐
准教授	森下 真莉子	博士(薬学)	薬剤学	
准教授	町田 昌明	博士(薬学)	薬学教育研究センター・ 実務教育研究部門	
准教授	武藤 章弘	博士(医学)	病態生理学	学校医 産業医 保健管理センター長
准教授	浅井 和範	博士(薬学)	薬学教育研究センター・ 実務教育研究部門	
准教授	遠藤 朋宏	博士(薬学)	放射線応用科学	RIセンター長 就職部長補佐 放射線取扱主任者
准教授	千葉 義彦	薬学博士	薬理学	
准教授	重野 豊隆	文学修士	哲学	
准教授	高橋 勝彦	博士(薬学)	病態機能制御学	医薬品化学研究所・ 生体機能部門
准教授	細江 智夫	博士(薬学)	薬化学	
准教授	小林 恒雄	博士(薬学)	機能形態学	医薬品化学研究所・ 生体機能部門
准教授	山崎 正博	博士(薬学)	衛生化学	

職名	氏名	学位称号	担当又は所属	備考
准教授	山内貴靖	博士(薬学)	有機合成化学	危険物保安監督者 医薬品化学研究所・ 医薬資源化学部門
准教授	服部喜之	博士(薬学)	創剤構築	医薬品化学研究所・ 医薬品適用部門
准教授	矢ノ下良平	薬学博士	生物学	
准教授	築地信	博士(薬学)	微生物学	
准教授	坂田健	博士(工学)	化学	
講師	大野修司	薬学博士	生化学	
講師	香川博隆	博士(薬学)	情報科学	
講師	島田雅彦	修士(薬学)	薬学教育研究センター・ 実務教育研究部門	
講師	白水俊介	学士(薬学)	薬学教育研究センター・ 実務教育研究部門	
講師	久保元	博士(薬学)	薬学教育研究センター・ 薬剤師教育研究部門	
講師	竹ノ谷文子	博士(医学)	体育学	学生部長補佐
講師	佐藤はるか	修士(薬学)	薬学教育研究センター・ 実務教育研究部門	
講師	吉澤小百合	修士(教育学)	英語2	
講師	落合和	博士(医学)	薬動学	
講師	田中嘉一	学士(薬学)	薬学教育研究センター・ 薬剤師教育研究部門	
講師	池田弘子	博士(歯学)	薬物治療学	
講師	高橋万紀	博士(薬学)	薬品製造化学	
講師	長瀬弘晶	博士(工学)	薬品物理化学	
講師	金田利夫	博士(学術)	生薬学	

11. 教職員数 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

(1) 教育職員 94 名

区分	人数
学長	1 名
教授	26 名
准教授	22 名
講師	14 名
助教	19 名
助手	12 名

(2) 研究職員 1 名

(3) 事務職員等 42 名

区分	人数
事務職員	35 名
技術職員	4 名
契約職員	1 名
常勤嘱託職員	2 名